

一般社団法人日本地震工学会 第2回社員総会議事録

1. 日時：平成23年5月27日（金）13時30分から19時00分
2. 場所：建築会館ホール（東京都港区芝5丁目26番20号）
3. 総社員総数 1,184名
4. 出席社員数 703名
5. 出席代表理事 久保哲夫、新代表理事（会長）川島一彦
出席理事（平成22年度理事・監事）
久保哲夫、中島正愛、東畑郁生、運上茂樹、中村孝明、澤本佳和、高田 一、
東 貞成、保井美敏、佐藤俊明、栗田 哲、藤田 聡、境 有紀、鹿嶋俊英
倉本 洋、木全宏之、山中浩明、飯場正紀
出席監事 井上範夫
出席理事（平成23年度理事・監事）
川島一彦、若松加壽江、芳村 学、矢部正明、大谷章仁、渡壁守正、中埜良昭
高橋 徹、齊藤大樹、五十田博、永野正行
出席監事 河村壮一
6. 議長 代表理事（会長）久保哲夫、新代表理事（会長）川島一彦
7. 議事録作成 理事 佐藤俊明、理事 木全宏之

【I】 論文奨励賞の授与式と受賞者講演（13時30分～13時45分）

社員総会に先立ち、論文奨励賞の授与式および受賞者の講演が行われた。久保会長より山田真澄氏への表彰を行った。その後、受賞論文に関して講演が行われた。司会は学術担当の栗田理事が担当した。

受賞者・論文名：

山田真澄（京都大学）即時被害予測のための建物内地震動増幅度の簡易推定手法

【II】 第2回社員総会（13時45分～15時00分）

1) 議長選任の経過：

定刻に至り理事中村孝明より開会を宣し、続いて代表理事（会長）久保哲夫が挨拶した。挨拶の冒頭、東日本大震災で犠牲になられた方々への哀悼の意を表するために30秒間の黙とうを行った。司会者、理事中村孝明より、平成23年度第2回社員総会は、一般社団法人日本地震工学会定款第3章第14条、第15条、第16条、第17条、第18条により、定足数を満たしたので有効に成立する旨を告げたのち、議長については定款第17条により代表理事久保哲夫会長があたることを宣言した。続いて久保哲夫議長（以下、議長）から挨拶の後、議案の審議に入った。

2) 議事経過

代表理事（会長）久保哲夫議長及び新代表理事（会長）川島一彦議長（以下、議長）のもと以下の議案に基づき審議が行なわれた。

第2回社員総会 議案

第1号議案 平成22年度事業報告

議長は、第1号議案について理事中村孝明に内容を説明させた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

第2号議案 平成22年度収支決算報告・平成22年度監査報告

議長は、第2号議案について理事高田 一に内容を説明させた後、続いて監事井上範夫から会計に関する書類は、綿密に調査したところ、法令に照らしいずれも妥当であることを認めた旨の報告がされた。議長はこれを議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

第3号議案 平成23年度理事・監事の選任

議長は、第3号議案について理事澤本佳和に内容を説明させた後、議長は以下の理事、監事についてこれを議場に諮ったところ、以下の理事、監事の選任について満場異議なく議決した。

なお、理事、監事及びその任期は以下のとおりである。

- 理事 五十田 博 (信州大学)
- 理事 大谷 章仁 (株IHI原子力セクター)
- 理事 川島 一彦 (東京工業大学)
- 理事 齊藤 大樹 ((独) 建築研究所国際地震工学センター)
- 理事 高橋 徹 (千葉大学)
- 理事 渡壁 守正 (戸田建設技術研究所)
- 理事 中埜 良昭 (東京大学生産技術研究所)
- 理事 永野 正行 (東京理科大学)
- 理事 矢部 正明 (株長大)
- 理事 芳村 学 (首都大学東京)
- 理事 若松加壽江 (関東学院大学)
- 監事 河村 壮一 (大成建設(株)技術センター)
- 監事 翠川 三郎 (東京工業大学)

任期：平成23年5月27日～平成25年5月31日

議長より、第3号議案 平成23年度理事・監事の選任により平成23年度理事会構成が成立した旨報告がなされた。

14時15分、本社員総会を中断し、直ちに平成23年度理事会構成による臨時理事会を開催した。同14時30分臨時理事会終了の報告を受け、本社員総会を再開した。

本社員総会再開後、理事澤本佳和から、臨時理事会開催にて新代表理事(会長)に川島一彦氏が選任され、新副会長に理事若松加壽江氏ならびに理事芳村学氏、留任副会長に理事運上茂樹氏が選任された旨報告がなされた。よって、以下の議案について新代表理事(会長)川島一彦氏に議長を交代した。

これによって、理事、久保哲夫氏、中島正愛氏、東畑郁生氏、中村孝明氏、高田 一氏、保井美敏氏、栗田 哲氏、藤田 聡氏、境 有紀氏、倉本 洋氏、飯場正紀氏は任期満了により退任となることの報告がなされた。(就任期日：平成22年5月20日から退任期日：平成23年5月27日)

なお、監事井上範夫氏より本社員総会終結をもって辞任する旨の申し出があった。

第4号議案 平成23年度選挙管理委員会委員の選任

議長は、第4号議案について理事澤本佳和に内容を説明させた後、議長はこれを議場に諮ったところ、以下の選挙管理委員会委員選任を満場異議なく議決した。

- 正会員 岡野 創 氏 (鹿島建設)
- 正会員 佐藤俊明 氏 (清水建設)
- 正会員 渡辺和明 氏 (大成建設)

正会員 渡壁守正 氏（戸田建設）

第5号議案 平成23年度事業計画

議長は、第5号議案について理事澤本佳和に内容を説明させた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場異議なく議決した。

第6号議案 平成23年度収支予算

議長は、第6号議案について理事東 貞成に内容を説明させた後、議長はこれを議場に諮ったところ、正会員渡辺孝英氏から以下の2点について質問があった。

Q1. 前年度繰り越し分2千数百万円がどのようなお金で今後どのように使っていくのか、よくわからない。また、お金の流れがわかりやすく見えるような予算書をつくってほしい。これに対して、前代表理事久保哲夫氏ならびに学会事務局から以下の回答があった。

A1. 2千数百万円は法人化される前の任意団体である日本地震工学会からの寄付金である。これは今後有意義に使ってよいと考えている。学会が法人化されて会計処理が変わったので、このような書類形式となっている。

また、これに関連して、正会員大江一也氏から、以下の提案があった。

- ・平成23年度の財産目録の予想を示せばわかりやすいのではないかと。

これを受けて、議長から以下の提案があった。

- ・お金の流れが理解できる資料を付ける等、次年度に向けて検討していきたい。

この提案を条件として、満場異議なく議決した。

第7号議案 名誉会員の推挙

議長は、第7号議案について前理事東畑郁生に内容を説明させた後、議長はこれを議場に諮ったところ、以下の2011年新名誉会員の推挙が満場異議なく議決した。

2011年新名誉会員

入倉孝次郎氏、岩崎敏男氏、小谷俊介氏、片山恒雄氏、亀田弘行氏、北川良和氏、後藤洋三氏、鈴木浩平氏、土岐憲三氏
以上9名。

最後に、新代表理事（会長）川島一彦氏が挨拶を行い、以下の3つの方針を示した。

[方針1] 東日本大震災とその後の対応について、俯瞰的に物事をみる位置にある日本地震工学会の役割は大きい。この大震災を教訓として将来に備えての提案を行っていきたい。

[方針2] この大震災を受けて、来年3月を目途に国際シンポジウムを開催して、日本から海外に情報発信を行いたい。

[方針3] 海外の会員の獲得に特に力を入れていきたい。

以上ですべての議案の審議を終了し、15時00分に平成23年度一般社団法人日本地震工学会第2回社員総会を閉会した。

【Ⅲ】講演会（15時30分～17時30分）

社員総会終了後、「東日本大震災の教訓」をテーマとした講演会が行われた。司会は事業担当の木全理事が担当した。

- (1) 東日本大震災にどのように対応するのか：濱田政則（早稲田大学教授）
- (2) 東日本大震災について－被災者・建築構造の立場から－：井上範夫（東北大学教授）
- (3) 東日本大震災における都市ガスの被害状況と東京ガスで観測された地震データ：岸野洋也（東京ガス(株)防災・供給部部長付）

(4) JR 東日本における地震対策：荒井 稔（JR 東日本(株) 総合企画本部技術企画部長 兼 研究開発センター所長）

【IV】懇親会（17時30分～）

通常総会終了後、建築会館ホールにて懇親会が催され、会員相互の懇親が図られた。

上記議事を明確にするため、新代表理事となった川島一彦議長がこの議事録に署名押印する。

平成 23 年 5 月 27 日

一般社団法人日本地震工学会第 2 回社員総会

議長代表理事

川 島 一 彦

